

2022年

入試直前

ズバリ的中

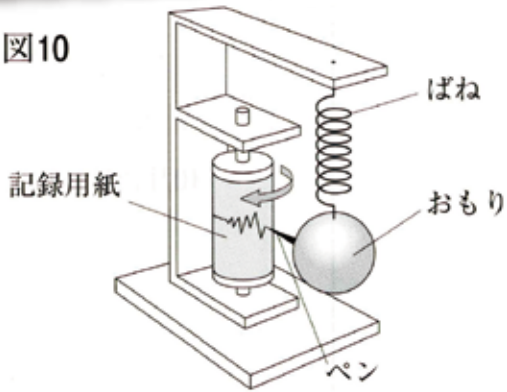
続出!

熊本県公立高入試理科で

本番の入試問題と英進館大予想!模試・直前テストの一致

2022年 熊本県公立入試

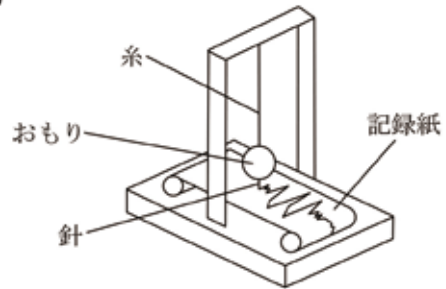
図10



(2) 図10は、地震計のしくみを模式的に表したものである。地震計は、慣性を利用して地震のゆれを記録する。地震計が地震のゆれを記録することができるしくみを、慣性に着目し、記録用紙とおもりという二つの語を用いて書きなさい。

第1回大予想模試

図6



(1) 図6の地震計のおもりと針は① (ア ほとんど動かずに、イ 地面の揺れと同じ方向に動いて、ウ 地面の揺れと反対方向に動いて)、記録紙は② (ア ほとんど動かない、イ 地面の揺れと同じ方向に動く、ウ 地面の揺れと反対方向に動く) ので、地震計に地震の揺れが伝わると、記録紙に揺れが記録できる。①、②の () の中からそれぞれ正しいものを一つずつ選び、記号で答えなさい。

英進館では復習を徹底するため、地震計のしくみをしっかり理解して本番の入試を迎えることができました!

問われている内容が完全一致!

2022年 熊本県公立入試

(4) 図11の地震では、地震発生から13秒後に緊急地震速報が広範囲に発表された。地点Bでは、緊急地震速報発表の何秒後にS波が到達したか考えられるか。最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 1秒 イ 11秒 ウ 26秒 エ 50秒

問われている内容が完全一致! 解き方も完全一致!

2022年2月18日実施 第2回直前テスト

問4 緊急地震速報は、P波による小さなゆれをすばやく感知し、S波による大きなゆれがはじまることを、その数秒から数十秒前にテレビやラジオを通じて知らせるためのものである。表1の地震において、震源からの距離が24kmの地点に設置された地震計がP波を感知したと同時に、各地に緊急地震速報が発信されたとする。震源からの距離が120kmの地点では、緊急地震速報の受信からS波が到達するまでに何秒かかるか、求めなさい。ただし、緊急地震速報は、発信後ただちに各地点に伝わったものとする。

英進館生は緊急地震速報についての問題を本番1週間前に解いていました!